

# 大学生における発達障害の知識と 援助意識の性差の検討

○曹美妍・#山根言織・川人潤子  
(香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻)

## 目的

近年、大学に在籍する障害学生は増加しており、中でも発達障害学生が大学生活を円滑に送る上で、周囲の学生による理解と支援は重要である。京極他（2020）は、発達障害に関する特性理解が援助意識を高めると指摘している。

また、吉利他（2018）は、知識の認知度に性差が存在する可能性を示している。

本研究では、大学生・大学院生を対象に、発達障害に関する知識と援助意識の実態を明らかにすることを目的とした。特に、女性が男性よりも知識得点が高いという仮説を検証した。

## 方法

**調査期間および調査対象** 2024年7月～10月に、A大学に在籍する学部生・大学院生207名（男性90名、女性115名、未回答2名；平均年齢19.35歳、 $SD=1.51$ ；66.7%が1年生）を対象に、オンラインによる自己記入式質問紙調査を実施した。

**調査項目** (1) 基本属性 年齢、性別、学部・専攻、学年、(2) 発達障害に関する知識 8つの障害名（発達障害3種・他5種）から発達障害を選択する課題により、知識の有無を測定した。(3) 困惑場面と援助意識 京極他（2020）を参考に作成した5つの困惑場面（本人困惑3場面、周囲困惑2場面）に対する援助意識を尋ねた。(4) 多次元共感性尺度（鈴木・木野，2008）下位尺度「他者指向的反応」（5項目）および「視点取得」（5項目）を使用し、いずれも5件法で回答を求めた。(5) 援助意識規範尺度（箱井・高木，1987）下位尺度「自己犠牲規範意識」（8項目）および「弱者救済規範意識」（5項目）を用い、いずれも5件法で回答を求めた。

**解析方法** 性別について未回答の2名を除外した205名の回答に対して、知識得点の性差は対応のない $t$ 検定、得点と共感性や援助意識規範に関してはPearsonの相関分析を用いた。困惑場面での援助意識と援助行動については、KJ法で分類した。

**倫理的配慮** 本研究は香川大学医学部倫理委員会の承認を得て実施した（No.2024-054）。

## 結果

本人が困惑する3場面のうち2場面では「手助けする」との回答が多数を占めた。一方、周囲が困惑する2場面では「手助けしない」が多数を占め（各141件、112件）、その理由として「困った状況として認識しない」との回答もみられた。

性別ごとに、共感性得点と援助規範意識得点の相関分析を行った。その結果、男性は、多次元共感性尺度の下位尺度「他者指向的反応」と、援助規範意識尺度の複数の下位尺度との間に、弱～中程度の正の相関が認められた（ $r=.28-.43$ ,  $p<.01$ ）。女性は、多次元共感性尺度の各下位尺度と援助意識規範尺度の各下位尺度との間に、弱～中程度の正の相関が認められた（ $r=.36-.55$ ,  $p<.01$ ）。

さらに、知識得点を従属変数、性別を独立変数として対応のない $t$ 検定を行ったところ、女性が男性よりも有意に高得点を示した（ $t(205)=-3.99$ ,  $p<.001$ ）。

Table1

|        | 性別による知識理解得点の比較 |      |                |      | $n=205$ |
|--------|----------------|------|----------------|------|---------|
|        | 男性 ( $n=90$ )  |      | 女性 ( $n=115$ ) |      |         |
|        | 平均             | 標準偏差 | 平均             | 標準偏差 | $p$ 値   |
| 知識理解得点 | 4.48           | 1.76 | 5.46           | 1.74 | <.001   |

## 考察

本研究で認められた発達障害に関する知識の性差は、吉利他（2018）の報告と一致した。また、女性が教育・医療といった領域を選びやすい傾向があるとの報告もあり（高松，2022）、女性は教育・医療的知識への関心や接触機会が高い可能性が推察される。

特に、「周囲が困惑する状況」で援助意識が低下する傾向がみられ、他者の困り事を「困難」として捉えにくい背景には、コロナ禍以降の大学内の人間関係の希薄化（小熊，2023）など社会的要因も考えられる。

本研究の対象者は、約7割が1年生であったため、今後は、学年による変化を縦断的に検証し、発達障害への理解や援助意識の発達過程を明らかにしていく必要があるだろう。